

2年生 証明問題 入試情報

【 1 】 出題頻度

H20年度～の約10年間、AB日程計20回中「 16回出題 」

【 2 】 出題傾向

(1) 出題形式

- 図形あり 4回 (なし12回)
- 三角形 (正三角形2、直角三角形3)
- 四角形 (平行四辺形7、正方形1)
- 作図1 (垂線作図1)
- 数2 (カレンダー1、連続する〇〇)

(2) 21年度以降、選択肢のみ、または、空欄自力記入

(3) 26年度以降、図ありの問題のみ。

【 3 】 対策重点項目

(1) 文章のみの問題は、対応する記号の順にまで気をつける必要があるため、図をかいて考える練習をしておく。(25年度以前は、すべて自作の図が必要だった。)

(2) 作図の証明が1回出題されているので、教科書で出された作図の流れを確認しておく。

(3) 平行線の性質、平行四辺形になる条件、二等辺三角形の性質、直角三角形の合同条件、錯角、同位角、対頂角などの角の性質、三角形の合同条件などの基本知識の確認。

(4) $90^\circ - (\angle \odot \odot \odot)$ の考え方に慣れておく。

【 4 】 解き方の POINT

(1) (図で先に解いてから証明を読む流れ)

与えられた証明の流れを読む前に、合同条件を用いて図の中に書き込み解く。

(2) (証明を下から読む)

合同条件が先に分かるので、全体像をイメージしやすい。